



ゆづきしんぶん

やさしいにほんご



はっこうにん

2025年4月：発行人（しんぶんをつくった人）かんづくり ともみ

えひめ くもと あたら たびだち

マイさん愛媛から熊本へ、新しい旅立

この春、ゆづき事務所のベトナム語の通訳だったマイさんが、愛媛大学大学院を卒業します。4月からは熊本県に行きます。熊本の会社で働きはじめます。

マイさんは、とても親切に、たくさんのベトナムのみなさんの話を聞いてくれました。みんなから、頼りにされていました。1年間、本当にありがとうございました。熊本でもがんばってください。

通訳(つうやく)をしているマイさん



ゆづきの通訳(つうやく)のみんなど、マイさんのおわかれ会をしました

YUZUKI

NEWS



ブータン人のパジョさんとプルバさんが、2024年の秋、農業分野の特定技能2号試験に合格しました。二人にどんな勉強をしたのか、聞きました。

パジョさん いなばさん プルバさん



ぼくたちは、英語が分かるので、日本語と英語のテキストを読みました。わからない漢字はGoogle翻訳で調べました。試験では、難しい漢字には、ふりがながありませんでした。よかったです。勉強は、仕事のあと、夜にしました。つかれていましたが、がんばりました。会社のいなばさんが、1日おきに、いっしょに、勉強をしてくれました。これから、特定技能2号になり、愛媛で仕事を続けます。

はっこうにん 発行人より

今回のゆづきしんぶんは、「やさしい日本語」で作成しました。「やさしい日本語」とは、日本語を母語としない人々が理解しやすいように工夫された日本語のことです。

日本語がまだ十分に分からない人々が情報を正確に受け取れるよう、簡単な言葉や表現に置き換えたものです。

特徴は…簡単な語彙を使用する(例:「避難してください」ではなく「逃げてください」)。短い文で伝える。敬語や難しい文法を避ける(例:「お越してください」ではなく「来てください」)。難しい漢字は使わず、ひらがなを使う(「危険」ではなく「あぶない」)。

やさしい日本語を使うことで、外国人が必要な情報を理解しやすくなります。特に災害情報や役所からの案内、観光や生活情報の提供で広く活用されています。

りか

ともみ

日本語教育能力検定試験に合格 空手の全日本型大会で準優勝



日本語(にほんご)の勉強(べんきょう)を、つづけていきます。



仕事(しごと)も空手(からて)もがんばります!